

NITTO KOHKI CO.,LTD.

Social & Environmental

REPORT 2020

日東工器 2020年 社会・環境報告書

地球環境への取り組みを通じて

社会的責任を果たし

持続可能な社会を追求します

編集にあたって

発行目的と編集方針

日東工器株式会社の社会、環境への取り組みと現状を、株主やお取引先をはじめとするステークホルダーの皆様にご理解いただき、皆様とのコミュニケーションを深めていくことを目的としています。社会貢献活動や環境負荷についての指標を中心に、正確で透明性の高い情報開示をモットーに編集を進めました。2015年から「社会・環境報告書」といたしました。また、財務情報・企業情報について詳しくお知りになりたい方は、当社ホームページをご覧ください。

<https://www.nitto-kohki.co.jp/>

対象期間

2019年4月～2020年3月

対象範囲

原則として、日東工器株式会社としています。また、参考としてグループ会社の栃木日東工器株式会社、白河日東工器株式会社、株式会社メドテックおよび海外グループ会社の環境負荷の状況報告を含んでいます。

発行時期

- ▶発行日：2020年5月21日
- ▶次回発行：2021年5月予定

日東工器では2010年から環境報告書を発行しています。

ガイドライン(参考)

- ▶環境省「環境報告ガイドライン(2018年版)」

お問い合わせ先

- 日東工器株式会社 ISO推進部
- ▶TEL：03-3755-1111(代)
 - ▶FAX：03-5700-7192

後発事象

2020年4月1日以降、発行日現在までの後発事象はございません。

日東工器シンボルマーク(裏表紙参照)

日東工器のイニシャル「N」に無限大の記号「∞」を重ね合わせた「無限大マーク」の外側にタービンブレードを図案化して配したものです。「無限の可能性を信じ、常に知性と勇気が生む強いパワーによって回転し、前進する」との企業姿勢を象徴しています。

免責事項

この報告書には、日東工器の過去と現在の事実だけでなく将来についての計画、予想および見通しの記述が含まれています。これらの記述は、現時点で入手した情報に基づく仮定ないし判断であり、諸条件の変化によって将来の事業活動の結果や事象が予測と異なる可能性があります。

Contents

| | |
|--|----|
| 編集にあたって | 1 |
| Top Message | 2 |
| Topics | |
| エアマッサージ器「メドマー」のスポーツ分野での展開 | 3 |
| Chapter 1 経営 | |
| Part1 企業統治(コーポレートガバナンス) / 内部統制 | 5 |
| 社是・社訓・経営方針/取締役会および内部統制の役割/ コンプライアンスの整備・運用状況/ BCM(事業継続マネジメント)の体制・運用状況 | |
| Part2 ビジネスモデル・財務状況 | 7 |
| Chapter 2 社会への取り組み | |
| Part1 お客様とともに | 9 |
| 営業部門の取り組み/海外初の「アタックフェア」をインドネシアで開催 | |
| Part2 学生との関わり | 10 |
| 会社説明会から入社まで/インターンシップによる学生の受け入れ | |
| Part3 社員および家族との関わり | 11 |
| 第8回家族参観日/メドテック家族参観日/ ライフプランセミナー/社員向け決算発表会/ 社員会(労働者組織)活動紹介/創立記念式典 | |
| Part4 地域および社会との関わり | 13 |
| エコフェスタワンダーランド/各種社会貢献活動 | |
| Chapter 3 環境への取り組み | |
| Part1 日東工器が目指す環境経営 | 16 |
| 重要な環境課題/日東工器のバリューチェーン | |
| Part2 品質・環境方針/ 品質・環境マネジメントシステム | 17 |
| 品質・環境方針(ISO9001・14001) /品質・環境マネジメント体制/ 品質・環境マネジメントシステムの運用 | |
| Part3 製品含有化学物質への取り組み | 18 |
| 環境に関する法規制順守状況/グリーン調達/環境教育の実施状況 | |
| Part4 地球温暖化対策・廃棄物の削減 | 19 |
| 地球温暖化防止に向けた活動/廃棄物の削減 | |
| Part5 環境への影響について | 20 |
| Part6 製品開発 | 21 |
| 自社製品コンセプト/環境配慮設計 モノがたり | |
| ECO Topics | 22 |
| Part7 生産部門の取り組み | 23 |
| 生産改善小集団活動成果発表会/ 「NKG-EDI」/商品説明会開催(SNK)/生産会社の改善活動/海外環境データ | |
| Part8 オフィスの取り組み | 25 |
| 日東工器本社/LED照明へ交換 | |
| Part9 生物多様性への取り組み | 26 |
| 「やまがた絆の森プロジェクト」に参加 | |

Top Message

産業界の発展と、 全ての人の豊かな人生、 そして社会へ貢献する 企業へ

日東工器株式会社 代表取締役社長

小形明誠



● 社会・環境対応への取り組み

日東工器は、創業以来「省力・省人化」をテーマに時代のニーズに応える独創的な製品を開発してきました。そこには、常に「人を想う」という気持ちを大切に、モノづくりが基本にあります。

2019年には、8月の九州北部豪雨、9月から10月に関東から東北地方を襲ったいくつもの台風の暴風雨や豪雨による河川の氾濫や浸水、それに伴う停電など、甚大な被害をもたらす自然災害が相次いで発生しました。その原因の一つに、地球の気候変動による異常気象の影響が挙げられています。12月には、COP25がマドリードで開催され、地球温暖化を抑制するため、温室効果ガスの削減について話し合いが行われました。また海洋プラスチック問題など、人類が地球規模で取り組まなければならない喫緊の問題が提起されています。

このような状況において当社は、長年産業界の発展に貢献してきたメーカーとして、製品を通じた地球環境への貢献はもちろん、事業活動そのものを通しての環境負荷の軽減に取り組んでいます。

● 環境・品質マネジメントシステムの活用

ISO14001（環境マネジメントシステム）を日東工器、国内3生産拠点（栃木日東工器、白河日東工器、メドテック）、海外生産拠点（NITTO KOHKI INDUSTRY (THAILAND) CO., LTD.）の日東工器グループの主要拠点でそれぞれ取得しています。当社はISO14001規格にのっとり、社長を最高責任者としてEMSを構築し、「環境方針」に基づき、EMS活動を推進しています。

また、ISO9001（品質マネジメントシステム）を運用し、環境を考慮しながら持続可能な開発、品質の向上、顧客満足を推進し、事業活動を展開しています。

● 環境配慮製品の開発

当社では、製品開発にDfE（Design for Environment=環境配慮設計）を取り入れています。開発段階から廃棄までを通じた各段階で、環境配慮設計の実現度をチェックし、環境負荷をできるだけ低減することを考慮して開発しています。

また、独自のグリーン調達基準を定め、EUのRoHS指令、REACH規則に代表される環境法令を順守し、製品に含まれる化学物質によって環境に害を及ぼさないようにしています。当社のグリーン調達基準では、RoHS指令の規制対象とならない電子・電気機器以外の製品、EU向けの輸出分だけでなく国内や他地域向けの製品も含め、ほぼ全ての製品を対象にしています。

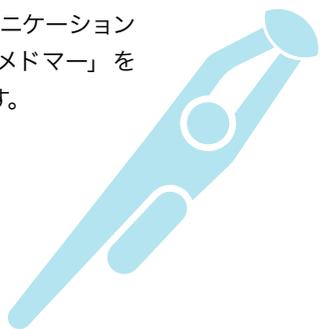
● 地球温暖化対策・CO₂の削減

製品使用時の電気を代表とするエネルギーの削減や、工場の生産で投入するエネルギー量、原材料と排出する環境負荷量、本社の照明のLED化をはじめとする通常の企業活動で投入する電気や燃費などのエネルギー量、コピー用紙をはじめとする紙類などを削減し、CO₂の発生を少しでも低減するように努めています。また工場では効率的な生産方法、設備の見直しなど、業務効率化のための投資も積極的に行い、CO₂排出量の抑制につなげています。

日東工器は製品を通じた地球環境への取り組みばかりではなく、事業活動を通じて地球環境への負荷低減、顧客満足向上が当社の果たすべき重要課題であると認識し、社会や地域の皆様への貢献活動を行いながら、これからもさまざまな社会的責任を果たしていきます。

ラグビー

ジャパンラグビートップリーグ「サントリーサンゴリアス」、スーパーラグビー日本チーム「ヒト・コミュニケーションズ サンウルブズ」に「メドマー」を使用いただいています。



サントリーサンゴリアス



Topics

エアマッサージ器 「メドマー」の スポーツ分野での展開



日東工器の「メドマー」は、空気のでて体をもみほぐすエアマッサージ器です。

「リンパ液と血行の効果的な促進」を実現する医療機器としても、病院、整骨院、リハビリ施設などに展開しています。さらに近年は、疲労回復を目的に、スポーツの分野でも幅広く利用されています。

プロゴルフ



プロゴルファー・今平周吾選手と川村昌弘選手に「メドマー」を使用いただいています。プレーにより蓄積した疲労を癒やし、新たなプレーに向けた力を得るために活用いただいています。



今平周吾選手



川村昌弘選手

駅伝



順天堂大学



学校法人石川高等学校

野球



セ・リーグとパ・リーグのチームに「メドマー」を使用いただいています。



ヒト・コミュニケーションズ サンウルブズ (オフィシャルサプライヤー契約)

©JSRA photo by H.Nagaoka



**Physical
MEDOMER**

バスケットボール

「B.LEAGUE B1」のバスケットボールクラブ「川崎ブレイブサンダース」と「レバンガ北海道」に「メドマー」を使用いただいています。



©LEVANGA HOKKAIDO
レバンガ北海道 (オフィシャルサプライヤー契約)



©LEVANGA HOKKAIDO

利用者様の声 「メドマー」利用者様よりいただいたコメントをご紹介します。

- 連日試合のときは、足のだるさを感じることが多かったのですが、「メドマー」を導入してからは、だるさが軽減された実感があります。
- 「メドマー」導入によって、セルフケアの充実ができるようになりました。
- 遠征での長時間フライト後は特に良いです。
- 「フィジカルメドマー」は腰までマッサージできるのがとても良いですね。使った後は、体が軽くなってパフォーマンスも良くなっていると感じます。
- 遠征中はホテルの室内で使用するので、ブーツタイプが便利に使っています。自宅にいるときは、トレーニング後にパンツタイプで腰までしっかりとケアをしています。

※マッサージの感じ方には個人差があります。

Chapter 1 経営

Part

1 | 企業統治（コーポレートガバナンス） / 内部統制

日東工器において、コーポレートガバナンスの目的は、継続的に企業価値を高めていくためのものとの認識に立ち、適時適切な情報開示によって透明性を確保できるよう、経営の監視が適正に機能するよう努めていきます。

社是

開発は企業の保険なり

社是にある「開発」には4つの意味が含まれています。

- ① 社会に貢献する製品開発
- ② 販売市場の開発
- ③ 人材開発
- ④ 組織管理体制の開発

これらの開発に全力を尽くすことが、会社の経営体質を強化し会社の持続的発展を保証する。すなわち「保険」であるということです。

社訓

- ▶ 創意を発揚し技術を蓄積しよう
- ▶ 鋭気を涵養し活力を蓄積しよう
- ▶ 誠意を尽くし信用を蓄積しよう

経営方針

- ▶ 社会への貢献
- ▶ 従業員の幸福
- ▶ 会社の発展

取締役会および内部統制の役割

2020年3月現在、取締役会は6人の取締役で構成され、毎月、定例取締役会を開催しています。取締役6人のうち2人は、会社との利害関係がない社外取締役です。

取締役会において、業務を執行する取締役は、会社が成長するために必要な提案を積極的に行います。社外取締役は、その提案について中長期的な企業価値向上の観点から意見を述べ、十分に審議をした上で決議をしています。また取締役会は、会社法に基づく業務の適正を確保するための体制の整備について決議します。

内部統制システムの基本方針は、当社ホームページ「コーポレートガバナンスに関する報告書」で開示しています。内部統制システムを整備し、適切に運用することにより社会的責任を果たします。

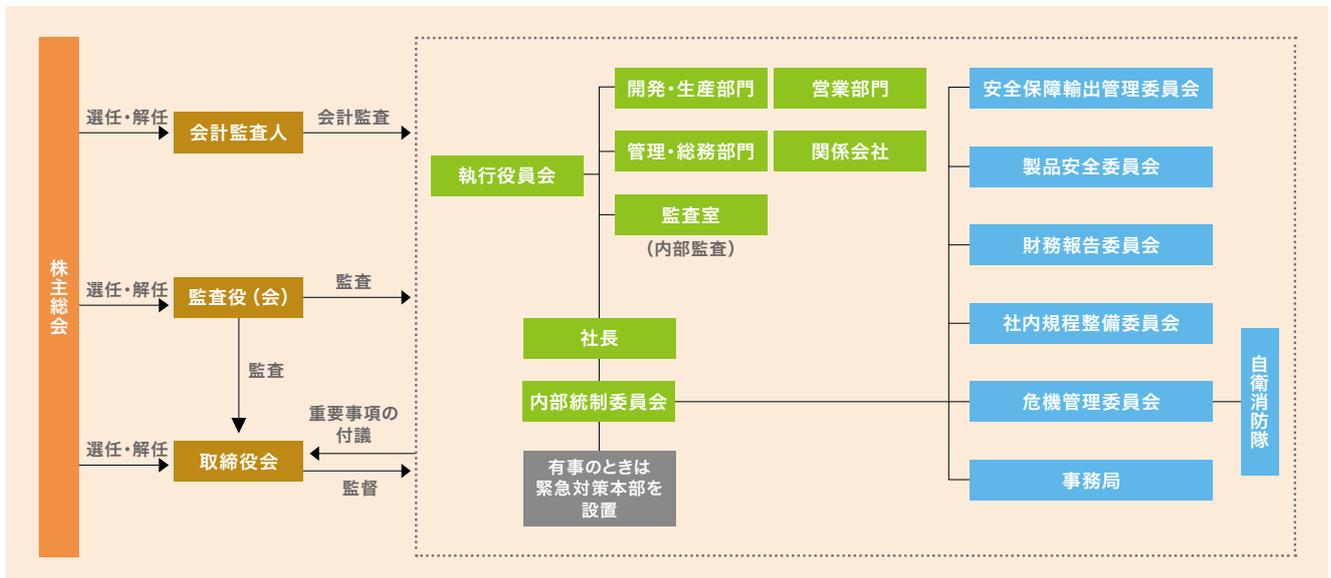
監査室は、独立した内部監査部門として社内全部門を網

羅的に、統制活動・リスク分析・情報伝達・業務改善・法令および社内規程の順守状況を客観的に評価し、経営の健全化・合理化に資するための監査を実施しています。2020年3月現在、法規制の違反や利害関係者からの要求および苦情の報告はありません。

2020年3月現在、監査役会は、3人の監査役で構成され、そのうち2人が社外監査役です。監査役は取締役会のほか重要な会議に出席し、取締役の任務遂行について厳正な監視を行うとともに適切に意見を述べています。

監査役は、各取締役・会計監査人・監査室と連携・情報収集を行います。そこで収集した情報を基に毎月、定例監査役会を開催、審議を行い、必要に応じて経営改善のための提言などを行っています。

内部統制システムの状況（組織）



全てのステークホルダーに誠意を尽くし、信用を蓄積し続けます。

コンプライアンスの整備・運用状況

▶ コンプライアンスへの取り組み

日東工器グループは、企業理念に基づき、法令順守はもとより社内規程・企業倫理・社会規範にのっとり、良識を持って行動するための基本事項を定めています。これを適切に運用し、コンプライアンスの徹底と社会的信用の向上を図ります。

▶ コンプライアンス教育

2015年7月よりコンプライアンスに関する「メールマガジ

ン」を毎月、全社員に配信・周知しています。今後もコンプライアンス教育を実施していきます。

▶ コンプライアンス相談窓口

日東工器グループは「内部通報窓口」として社内、社外それぞれにホットライン（通報・相談窓口）を設置しています。あわせて内部通報規程やポスターなどで、社員に「内部通報窓口」を周知しています。

BCM（事業継続マネジメント）の体制・運用状況

当社は緊急事態で優先すべき事項を次のとおり明確化し、BCMの体制構築および運用に取り組んでいます。

事業継続マネジメントの基本方針

- ① 従業員・家族の命を守る。
- ② 製品の供給継続。
- ③ 社会的な責任を果たす。

具体的には、2011年に発生した東日本大震災の早期復旧や、タイ国の大洪水で生じた工場浸水による一時的な国内工場への生産シフトの経験から、お客様への影響を最小限とする体制を構築しています。生産部門は購買ルートの確保・生産のバックアップ体制、営業部門は製品提供の維持・販売・営業拠点などのバックアップ体制の構築など、事業継続のための取り組みを行っています。その他にも海外治安情報の伝達・

インフルエンザ対策・規程類の見直し・非常用品の備蓄などを計画的に行っています。

また、従業員・家族の命を守るための取り組みとして、防災訓練・救命救急講習会を継続的に実施しています。防災訓練では、基本的な避難・点呼に加え、「けが人が出た場合」「行方不明者がいる場合」「防火設備が機能した場合」などを想定し、緊急事態にも自主的に判断し行動できる従業員の育成に努めています。救命救急講習会については、田園調布消防署の協力のもと普通・上級救命救急講習会を毎年1～2月に開催し、既に約260人が受講しています。全従業員が技能を取得し、地域社会に貢献していくことを目指しています。

当社の事業継続マネジメントに対する取り組みを理解していただくため、BCMの体制および取り組みをホームページの「事業継続マネジメント」で公開しています。



救命訓練



防災訓練



作業の省人化・省力化を軸に産業の未来を創造します。

Part

2 | ビジネスモデル・財務状況

日東工器の製品

ドアクローザ (オートヒンジ)



ドアクローザは、開けたドアを油圧とスプリングで静かに閉め、快適で安全な生活空間を提供する環境に配慮した製品です。安全に扉を開けられるドアクローザは、バリアフリーの面からも注目され、住宅・学校・医療施設など幅広い分野で採用されており、用途に合わせた製品を開発しています。

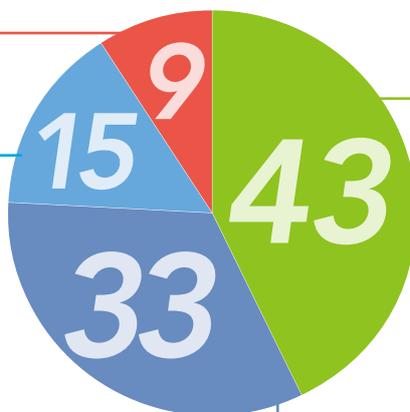


コンプレッサ& ポンプと その応用製品 (リニア)

日東工器が世界で初めて実用化した製品「リニア駆動ポンプ」を中心に、各種コンプレッサ&ポンプを揃えています。これらの技術を活用し、医療・家庭向けのユニークな応用製品を展開しています。その用途は、産業機器をはじめさまざまな分野へと拡大しています。

4分野売り上げ構成比

2019年度実績



迅速流体継手 (カプラ)



空気・水・油など流体配管の着脱を簡単に、スピーディに行う継手製品です。世界のトップブランドとして、幅広い分野でさまざまな用途に活用されています。生み出された製品群は25,000種類以上、業界ではトップクラスのシェアを誇り、現在では環境対応製品や、従来と異なる用途分野をマーケットに提案・提供しています。さまざまな要求に応えるため、時代の先端をいく高品質・高機能製品の開発を進めています。

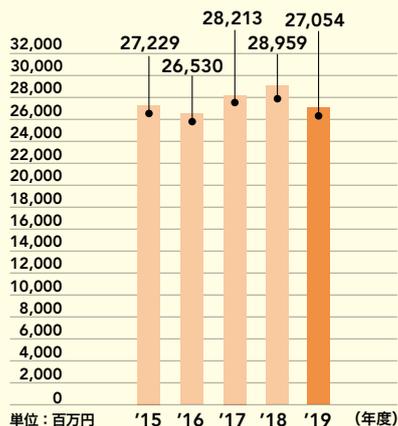


省力化機械工具と 電動ドライバ (ツール、デルボ)

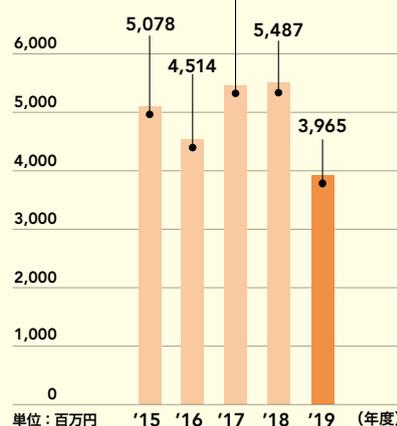
機械工具「ツール」は、さまざまな加工現場で加工形態・作業状況の多様化に合わせ、空圧・電動・油圧を駆動源とした製品群を準備しています。パワーアップ、小型化という不変のテーマに挑戦し続け、常にニーズの一步先の要求対応を追求しています。電動ドライバ「デルボ」は、高精度トルク管理と使いやすさなどを実現した信頼ブランドとして、世界中の精密機器分野の組立作業現場で、幅広く使用されています。

財務データ (連結決算指標) 財務データの詳細は、当社ホームページをご覧ください。 <https://www.nitto-kohki.co.jp/ir/library/>

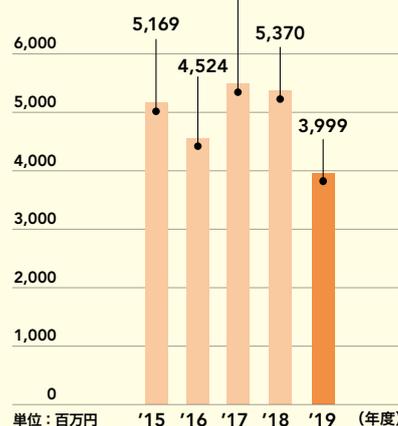
売上高 (連結)



営業利益 (連結)



経常利益 (連結)



※財務データに関する記述は発行日時点での情報からの予測であり、実際の業績などは予測と異なる可能性があります

日東工器のビジネスモデル



支援

- 経営企画部
- 基幹システム推進部
- 総務部
- 情報システム部
- ISO推進部
- 人事部
- 経理部
- 監査室

当期純利益（連結）



総資産（連結）



会社概要

| | |
|-----------------|--|
| 商号 | 日東工器株式会社 |
| 設立年月日 | 1956年10月22日 |
| 本社所在地 | 東京都大田区仲池上二丁目9番4号 |
| 資本金 | 18億5,032万円 (東証一部上場：機械) |
| 従業員数 | 単体 431人 (連結 973人) |
| ISO9001認証の取得年月 | 1997年12月 |
| ISO14001認証の取得年月 | 2004年5月 |
| 国内グループ会社 | 3社 栃木日東工器株式会社 白河日東工器株式会社 株式会社メドテック |
| 海外グループ会社 | 6社 アメリカ、ドイツ、タイ、 オーストラリア（2社）、中国 (2020年3月31日現在) |

Chapter 2 社会への取り組み

お客様への製品提案活動を通して環境負荷の低減を行います。

Part

1 | お客様とともに

日東工器グループは地球環境への貢献を目指し、「環境配慮製品」を含めた「提案型営業」を推進しています。

営業部門の取り組み

日東工器は、よりお客様に近い営業活動を目指し「環境配慮製品」の紹介をはじめ、「提案型営業」を積極的に進めています。

地域密着型の展示・実演・即売会の「アタックフェア」、当社と販売店との二人三脚で、お客様に合わせた製品の提案活動を行う「アタックキャラバン」、各種製品を備え付けたキャラバンカーでお客様に出向き、ミニ展示会を行う「出前フェア」を実施しています。各活動で行う「体感コーナー」では、製品を実際に見て・触れて・動かして、実感していただけます。

これからも、日東工器製品群とマーケットを熟知した販売店で構成する、独自の販売・流通組織「日東会」と連携し、地域に密着したきめ細かな活動を展開し、社会との絆を大切に、お客様のためになる製品の普及に努めていきます。

2019年度実績

アタックフェア

13回

アタックキャラバン

87回
(171日)

出前フェア

269回

海外初の「アタックフェア」をインドネシアで開催

成長著しい東南アジア市場における販路拡大を目的として、インドネシアに事務所を開設しました。インドネシアは、天然ガス・石炭・石油などの産出国ですが、近年では、製造業の育成を重点政策としており、バイクや自動車をはじめとした産業が成長しています。

当社はさらなる市場を開拓すべく、2019年10月、日東工器独自の展示会「アタックフェア」を海外で初めて、インドネシアで開催しました。「アタックフェア」のコンセプトはお客様が実際に「見て・触れて・動かす」です。今回の「アタックフェア」では、通常より実演コーナーを増やし、カプラ・機械工具・デルボリニアコンプレッサなどを展示しました。多くのお客様にじっくりと足を止め、製品を見て、実際に動かして、試していただくことができました。

アタックフェアを通じて、さまざまな日東工器の省力・省人化製品を体感してもらうことで、「NITTO KOHKI」のブランドとその製品の魅力をより実感していただくことができ、良い機会となりました。



Part

2 | 学生との関わり

日東工器の採用活動では学生一人ひとりと理解を深め、ありのままの日東工器を知ってもらうことに重きを置いています。「インターンシップによる学生の受け入れ」「働く現場説明会」など、学生との触れ合いを通じてモノづくり産業に貢献しています。

会社説明会から入社まで

機械工具業界では知名度の高い当社ですが、就職活動中の多くの学生は「日東工器」を知りません。そのため当社は、日東工器と学生一人一人との「相互理解」を重視しています。

学生の皆さんには、単に「良い会社」ではなく「自分に合う会社」を選んでほしいため、会社説明会では事業内容や製品だけではなく、「社是」「経営方針」「スローガン」についても説明します。また開発職と営業職の社員にも登壇してもらい、現場の生の声を聴いてもらう機会を作っています。

面接は少人数単位で実施します。また、最終面接後に人事担当者と面談を行い、お互いにしっかりと理解を深めたことを確認して正式に内定します。

機械メーカーである当社は、内定式の代わりに国内生産グ

ループ会社の3工場見学会を実施します。内定者には「モノづくり」に対する真摯な姿勢を理解してもらうことで、モノづくりメーカーに入社する心構えを醸成しています。

当社は、採用する学生一人一人の定着を見据えて、「相互理解」を重視した採用活動を実施しています。



インターンシップによる学生の受け入れ

日東工器インターンシップの実施

日東工器では学生の就業体験の機会提供として毎年インターンシップを実施しています。2019年度は、大学生・大学院生を対象とした日東工器独自の1Dayインターンシップを夏季と冬季に合計10回実施しました。

当日は、業界説明・会社紹介・社内見学・製品説明・座談会以外にも、実際の製品に数多く触れる機会を設けました。また、「性格診断と職種に関連性」についてのグループワークを実施したところ、モノづくりメーカーで働くことへの理解が深まり、学生自身の自己理解にもつながる機会となりました。

Internship&Creationship Study (I・C・S) の開催

日東工器独自のインターンシップとは別に、2014年度から、複数の企業・大学で連携し、I・C・S^{*}というインターンシッププログラムを実施しています。

2019年度のI・C・Sでは、関東：7大学43人、関西：6大学40人を当社に迎え入れ、当日は、モノづくりメーカーへの理解を深めてもらうために、会社紹介・社内見学・製品説明に加え、新製品開発のグループワークを実施しました。I・C・Sを通して、「文系でもメーカーで活躍できる」ことを、より多くの学生に知ってもらうことができました。

※I・C・S：「Internship&Creationship Study」の略称。企業と大学生の交流を目的に、2014年に発足したインターンシッププログラム。大学1・2年生を対象に、関東の5大学5企業と関西の6大学5企業が連携し、地域を超えて活動している。学生は1週間で複数の業界・業種を体験でき、学生同士の交流も深められる。

インターンシップを通じて

各インターンシップの参加者からは「メーカーやBtoBの企業について知ることができた」「社員の人から、製品に対する愛情と誇りを感じた」「自分自身の働くイメージが明確になった」など、好意的な感想が多く寄せられました。今後も学生にとって「社会・業界を学ぶきっかけ」「日東工器を深く知ってもらう機会」となるようなインターンシップを開催していきます。



社員とそ
のご家族
が安心し
て暮らし
ていける
ように、
より良い
職場環境
を目指し
ます。

Part

3 | 社員および家族との関わり

日東工器グループは、社員の皆さんが安心できる職場づくりに力を入れています。社員向け決算発表会や家族参観日、社員向けライフプランセミナーなどを通じて会社を理解していただき、信頼される企業を目指しています。

第8回家族参観日

「次世代育成支援」の一環として、日東工器では次の3点に主眼を置き、「家族参観日」を毎年実施しています。

- ① 子どもたちの勤労観や職業観を育む
- ② 内定者家族を含む幅広い世代の家族に、当社と仕事を理解していただく
- ③ 仕事と子育てを両立しやすい職場環境づくり

第8回となる2019年度は、初の試みとして子どもたちに「自己紹介シート」を書いてもらいました。

子どもたちの「お父さん・お母さんの働いているこんな姿が見たい!」というワクワク感を膨らませるだけでなく、事前

の社内掲示により会社全体で温かく迎え入れる準備をしました。

当日は、子ども向け・大人向け・共通プログラムなどでさまざまな体験・見学をしてもらいました。共通プログラムの「製品紹介」「社内見学」「燃料電池自動車MIRAIの紹介」から、お父さん・お母さんの働いている会社のことをたくさん知ってもらえました。

子どもたちからは「名刺交換が楽しかった」「来年もまた参加したい」という声をいただきました。



メドテック家族参観日

2019年度で3回目となったメドテック家族参観日には、4家族13人が参加しました。

メドテックは製造工場です。初めにモノづくりを体験してもらうため、木製の船を作ってもらいました。自分で組み立て、色を塗って完成させることで、モノづくりの楽しさを実感してもらいました。

その後の職場見学では、事務所や工場内を見学。子どもたちは、お父さんやお母さんの働いている姿を、目をキラキラさせながら見ていました。

今後より多くの家族にご参加いただけるよう、さらに楽しい家族参観を企画していきます。



ライフプランセミナー

50歳以上の社員を対象とした「日東工器グループ ライフプランセミナー」を2019年10月に開催しました。配偶者や2回目以降の参加者など、例年を上回る合計32人での開催となりました。

当日は、「定年後の生きがい」や「退職後のマネープラン」など日常あまり触れることのない情報が満載で、参加者はとても熱心に講義を聴き、実際にさまざまな金額を計算することで実感を得ていました。参加者からは「明日からの生活を見直すきっかけになった」「来年以降も参加して理解を深めたい」といった感想が寄せられました。

今後も、定年後のライフプランに役立つセミナーを企画していきます。



社員向け決算発表会

日東工器は年2回、経営層による社員向け決算発表会を本社で開催しています。2019年度は5月に「2018年度決算」、11月に「2019年度中間決算」の発表会が、決算発表当日に実施されました。担当役員から、市況や日東工器グループの連結決算総括について、売上・利益・トピックスなどが報告されま

した。

日東工器は、グループ全体の業績・活動などの最新状況を経営層自らの言葉で社員に伝えることで、全社一体となり事業活動を行っていきます。

社員会（労働者組織）活動紹介

日東工器には労働組合はありませんが、社員を代表して会社側と職場環境の向上や労働条件などを協議する「社員会」があり、組合に相当する活動を行っています。社員会と会社は毎月1回、定例協議会を実施。協議会を通じて、社員の意見を会社側に発信し、話し合いを行っています。

社員会発足後、長い歴史の中で近年の要望は処遇改善に加えて、育児や介護などライフステージの変化を迎えた社員

が働き続けられる「職場の環境整備」へと変化しています。少数の社員の意見も取り上げる社員会の存在は、社員の定着率の高さにもつながっています。

今後も時代に即したさまざまな改善、取り組みを通じて、健全で活気ある職場づくりを社員会・会社で協力して推進していきます。

日東工器創立記念式典

創立63周年の記念式典を、2019年10月23日に開催しました。式典では、社長からのメッセージが伝えられ、活躍する社員に以下の各賞が授与されました。

- ① 勤続30年目の社員に贈られる「永年勤続表彰」
- ② 優れた開発・発明に贈られる「発明報償表彰」
「技術ノウハウ報償表彰」
- ③ 改善提案活動に贈られる「改善提案表彰」
- ④ 自動車運転無事故無違反者に贈られる
「安全運転表彰」
- ⑤ 新製品のアイデアに贈られる「未来の実表彰」



Part 4 | 地域および社会との関わり

地域の皆様と良好な関係を築き、社会に貢献します。

日東工器グループは地域の皆様と良好な関係を築き、ともに成長していきたいと考えています。今後も事業活動に加え、さまざまな活動を通じて地域や社会に貢献していきます。

第19回エコフェスタワンダーランドin六郷～地域から考える地球の未来～

2020年2月、今回で19回目となるエコフェスタが大田区立東六郷小学校で開催されました。エコフェスタとは、毎年大田区主催で区内の小学校において、地域の団体・企業などが環境をテーマに工作や展示を行い、子どもたちに楽しく環境に触れてもらうイベントです。日東工器は10回目の参加となり、恒例となった松ぼっくりのミニクリスマスツリー作り、自然の材料を使ったリース作りを体験してもらいました。

子ども、大人を問わず参加者は、個性豊かな飾り付けや色付けをし、ツリーやリース作りを楽しんでいました。作品が完成した後、一生懸命作った作品を手にとり喜んでいる姿はと

ても印象的でした。中には、毎年来場して下さる親子やツリーとリース作りの両方を体験してくれる子どももいました。

見て・触れて・動かせる、環境配慮製品のデモ機も展示し、子どもたちは、リニアポンプで発生させた空気によって浮いている紙風船や、液体ポンプで発生させた水流がクルクルと流れる様子を好奇心いっぱいに眺めていました。

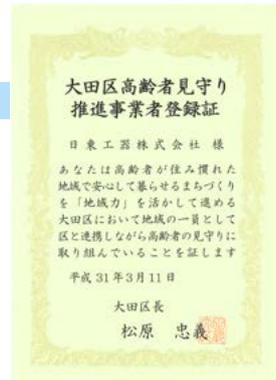
子どもたちには、自然に触れながらモノを作ることの楽しさや、日東工器製品も身近に感じてもらうことができました。これからも大田区の一員として地域に協力し、愛される企業を目指します。



「大田区高齢者見守り活動」への協力

大田区（東京都）では、ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯などに対する、地域での見守り・支え合いのネットワークづくりに取り組み、高齢者が安心して暮らせるまちづくりを進めています。日東工器本社は、高齢者見守りの趣旨に賛同し、「大田区高齢者見守り推進事業者」として、2019年3月に大田区へ申請を行い登録されました。主な活動内容は、周辺地域にお住まいの高齢者の異変や迷子に気づいたときに、「地域包括支援センター」へ連絡することです。

社員の一人一人が認知症に対する正しい知識と理解を持ち、高齢者やその家族に対し手助けができるよう、社員への教育（認知症サポーター養成講座）を継続していきます。



「鬼怒川・小貝川クリーン大作戦」に参加

2019年7月、国土交通省河川事務所主催で29回目となる「鬼怒川・小貝川クリーン大作戦」が開催されました。

栃木日東工器は、地域の環境に関する活動の一環として11回目の参加で、早朝7時から鬼怒川河川敷のゴミ拾いを行いました。年々参加者も増加し、今年は30人と多くの社員が参加しました。

今後も地域の方と協力し、環境に優しい社会づくりに貢献していきます。



地域との関わり～西日本支社～

2011年からスタートした西日本支社の清掃活動も2020年で10年目となりました。月2回、1回15分ほどの活動ではありますが、最近では近隣住宅や企業の皆さんと笑顔で挨拶を交わす機会が多くなりました。

このような地域との関わりは、企業活動においてとても重要と考えており、さまざまな活動を通じて、地域の方々とより良い関係性を築くことができます。引き続き、AEDの設置をはじめ備蓄品や救命対応・初期消火活動訓練など、いろいろな側面から人を想う活動に取り組んでまいります。



中日本支社の避難所運営ゲーム体験

中日本支社では、例年の避難訓練の代わりに、愛知県防災安全局より来社いただき、避難所運営ゲーム（HUG）を実施しました。避難所運営ゲームとは、災害が起こったと想定し、体育館などを避難所として運営することにより、避難所で起こる事態を理解し、適切な対応を学ぶゲームです。避難所に見立てた平面図とカードを使い、次々に避難してくる人をどこに配置したら良いか考えます。乳児から高齢者、ペット連れなどそれぞれ事情を抱えている避難者たちを適切に配置することは難しく、現実では非常に困難だろうと実感しました。また、自分たちに何ができるかを考える良い機会になりました。



東洋文庫ミュージアム・六義園へご案内

2019年11月、地域への社会貢献活動の一環として、障がい者とその付き添いの方々合わせて41人を、東洋文庫ミュージアムの北斎展にお招きし、六義園をご案内しました。

北斎展では、ポストカードにスタンプ5つを重ねて浮世絵制作を疑似体験できるコーナーが好評で、体験した方々が楽しそうに各々の作品を見せ合う姿が見られました。

当日は天気にも恵まれ、六義園では色鮮やかな紅葉が始まり、絶好の散策日和となりました。今後もこのような地域への社会貢献の機会を大切にしていきたいです。



久原小学校 社会科見学受け入れ

地域・社会貢献の一環として、大田区立久原小学校の3年生を対象とした会社見学会を2019年9月に日東工器本社で実施しました。小学校の社会科授業「わたしたちの暮らし」をテーマに近隣の会社で何が作られているかを学ぶため、約50人の生徒が見学に来ました。

子どもたちに日東工器について知ってもらうため、どのような製品がありどんなところで使われているかを説明しました。製品の説明では、実際に動かして近くで触れてもらうことで、

より興味を持ってもらうことができました。参加した小学生からは質問が多く出され、会社や製品を知ってもらう良い機会となりました。終了後には「楽しかった」「勉強になった」「大人になったら日東工器の社員になりたい!」などたくさんコメントをもらいました。

今後も地域・社会貢献活動に積極的に取り組んでいきます。



子ども向け会社案内



ウェルカムボード

JICA研修「人事行政セミナー」

2019年度JICA*主催の人事行政セミナーに参加されている国際研修員の方々が、日東工器の視察に来社されました。人事行政セミナーは、開発途上国に対する技術協力の一環として、JICAの委託を受けた(財)公務人材開発協会が、人事行政を担当する各国の課長クラスの国家公務員向けに開催する研修です。2019年度は6月と2月の計2回の視察を受け入れ、19カ国から計24人が来社されました。

社内見学では、さまざまな部門の社員が同じ建物で働き、装置・システム・情報を共有している合理性に、参加者一同感心していました。また、一技術者が長年同じ企業で働き続けることや、制服があることは日本では珍しくないことにも驚きの声があがっていました。

人事制度については、人事管理における課題について質問があり、少子化に伴う採用市場の激化と対策について説明しました。職場異動の多い公務員ならではの視点として、社内ローテーションの仕組みや、外国人の雇用状況、組織風土についても数多くの質問が出て、自国の人事行政改善への意識がうかがえました。

今後も、SDGs(持続可能な開発目標)を念頭に、国際社会への協力・貢献活動に取り組んでいきたいと思っております。

*JICA / ジャイカ: 独立行政法人国際協力機構 (Japan International Cooperation Agency)。日本の政府開発援助 (ODA) を一元的に行う実施機関として、開発途上国への国際協力を行っている。



Chapter 3 環境への取り組み

Part

1 | 日東工器が目指す環境経営

ISO14001を基本として、環境に配慮した省力化・省エネルギー製品の開発、さらに生産効率化と省エネルギー生産、廃棄物の削減、営業活動、製品輸送、サービス対応活動など全ての業務活動において、環境と人に配慮した持続可能な経営を推進していきます。

環境と人に優しく、持続可能な経営を実現させます。

日東工器の重要な環境課題

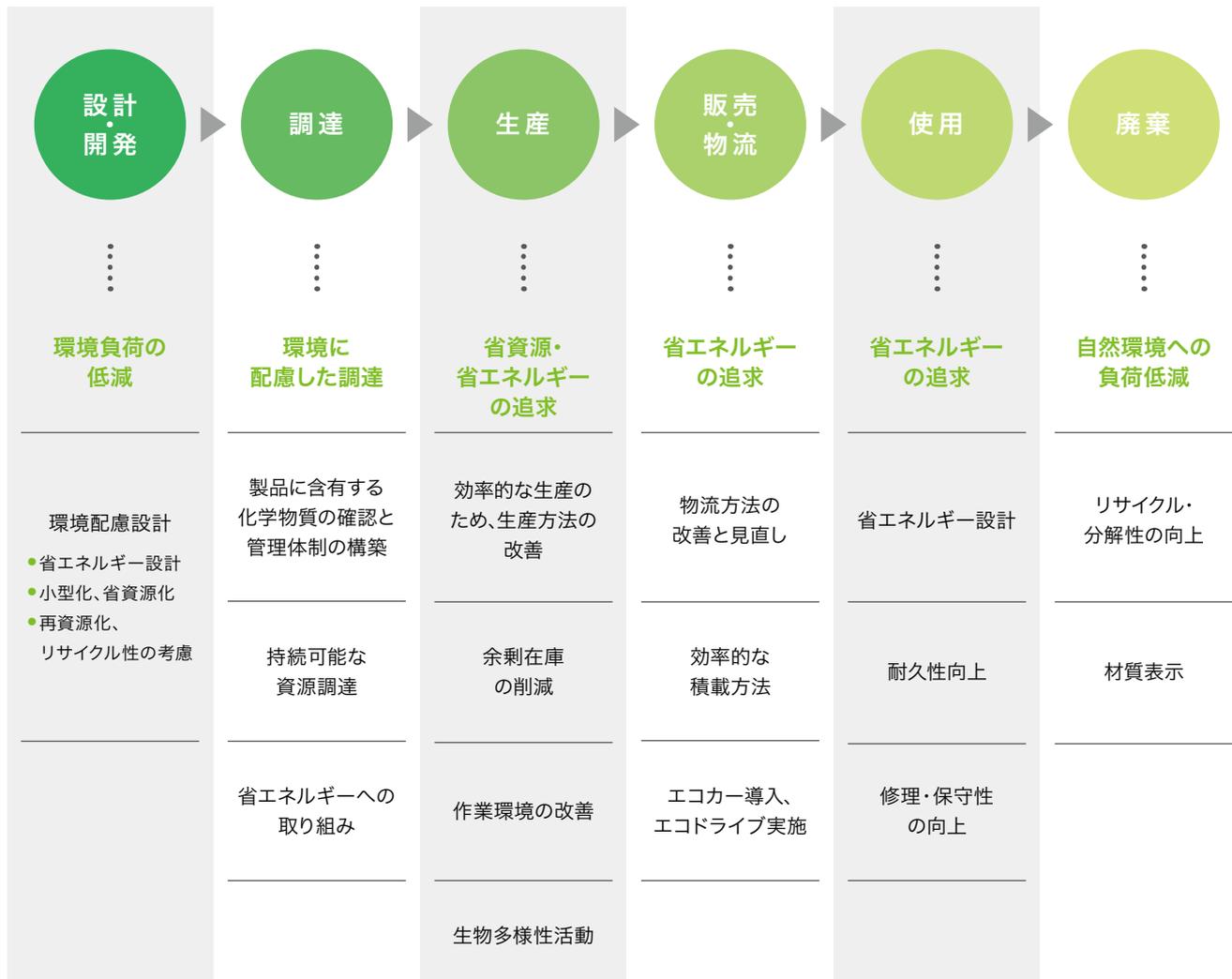
日東工器は省力化・省エネルギー製品の開発・生産・販売を行うメーカーです。その事業活動の中で環境に影響を与える主要な環境課題となるものは、以下になります。当社は

ISO14001・ISO9001の規格にのっとり、これらを重要環境課題として認識し、取り組んでいます。

- ① 開発製品の環境負荷の低減（環境配慮設計）
- ② 製品含有化学物質の管理と体制の構築
- ③ 効率的な生産の追求
- ④ 開発・生産・販売、通常の業務におけるCO₂排出量の削減（電力・ガソリンなどの使用量、廃棄物排出量、紙類リサイクル量など）

日東工器のバリューチェーン

日東工器は、設計・開発から調達、生産、販売・物流、使用、廃棄までの各ステップで、環境への負荷低減を意識した取り組みをしています。



Part

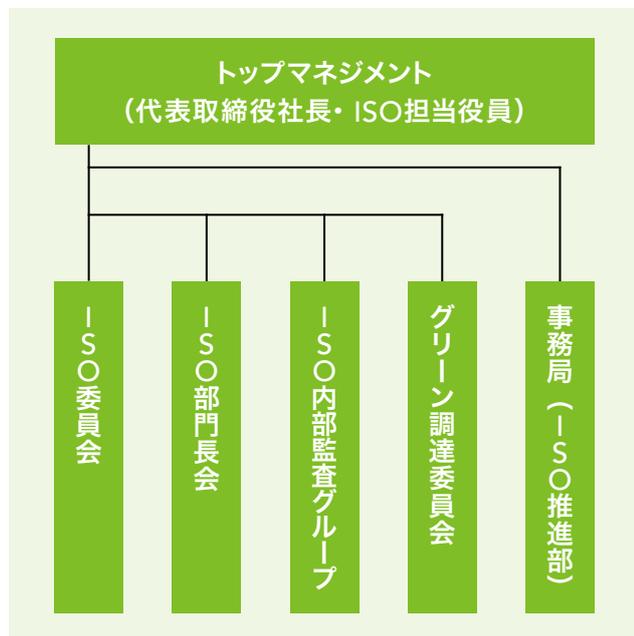
2 | 品質・環境方針 品質・環境マネジメントシステム

ISO9001および14001を基に、製品開発・生産・営業活動・輸送・サービス活動など全ての業務活動において、環境と人に配慮し、顧客満足の向上を図り、持続可能な経営を推進していきます。

品質・環境方針〈ISO9001・14001〉

- 1 日東工器株式会社は、全従業員一人一人がISO（品質および環境マネジメントシステム）を有効に活用し、迅速流体継手「カブラ」、機械工具（空圧機器／油圧機器／電動機器）、空気圧縮機・ポンプおよびそれらの応用製品、建築機器（ドアクローザ）などの製品設計から販売までの業務および、それ以外全ての業務において製品品質保全を包括した顧客満足向上、環境保全に努めます。
- 2 環境配慮の製品設計、グリーン調達・購入、省資源・省エネルギー、リサイクルの促進、廃棄物の削減などに取り組み、環境汚染の予防に努めます。
- 3 企業活動における順守義務事項を順守します。
- 4 品質および環境目標を設定し、運用し、定期的に内部監査・マネジメントレビューを行い、事業活動と整合した活動として品質および環境マネジメントシステムを継続的に改善します。
- 5 企業活動における業務プロセスを明確化し、業務改善を図ります。
- 6 この方針は文書化し、全従業員に周知徹底するとともに、社外からの求めに応じて公開します。

品質・環境マネジメント体制



品質・環境マネジメントシステムの運用

- ① ISO部門長会議：1回／年
年間の活動状況の報告・ISO内部監査結果や次年度の活動について伝達を行います。
- ② ISO委員会：1回／月
各部門実績報告より、目標に対する進捗状況確認・年間計画の実施・各部門へ周知事項の伝達などを行います。
- ③ ISO内部監査：2回／年
ISO9001/14001規格対応状況・業務における有効性・業務活動自体の効率性・弱点または優れた点を顕在化させ、改善を図ります。
- ④ マネジメントレビュー：2回／年
経営企画部およびISO管理責任者が、「ISOマネジメントレビュー報告書」を作成し、トップマネジメントへ活動総括を報告します。
トップマネジメントは、報告書でISO活動の定期レビューを実施します。

Part

3 | 製品含有化学物質への取り組み

日東工器は、環境法規制順守・グリーン調達・製品含有化学物質調査・社員の環境教育などを通じて、より安全な製品を生産する仕組みを構築しています。

環境に関する法規制順守状況

日東工器で制定した「グリーン調達基準」の全製品対応において、一部製品に規制値を超えた含有が確認されました。

この対応処置の詳細は、当社ホームページに公開しています。その他、環境に関する法令違反・指導・苦情はありません。

グリーン調達

日東工器は、品質や価格だけでなく環境にも配慮します。環境負荷が小さい材料・部品・資材などを、環境負荷の軽減に努める仕入れ先様から、優先して購入する取り組みを実施しています。

①グリーン調達方針

グリーン調達方針は、方針を定める目的・適用する範囲などを制定し、日東工器に関わりのあるさまざまな人に開示して、日東工器の企業姿勢を表明しています。

②グリーン調達基準

生産活動に関わる仕入れ先様に、日東工器のグリーン調達の考え方と、「各種法規制」順守の要請を行う基準です。本文と管理化学物質リストで構成され、仕入れ先様は日東工器のホームページからダウンロードできます。2004年に制定し、2020年4月現在9.1版を開示しています。

③グリーン調達委員会

グリーン調達活動を推進することを目的とした組織です。商品事業部・生産事業部・各生産拠点から委員が出席し、毎月グリーン調達活動におけるさまざまな議案を討議しています。

2019年度の活動では、RoHS(II)指令のフタル酸エステル類への対応として、一部の部品を除き品質評価を実施した代替材料への切り替えが完了しました。同様に、鉛の適用除外用途改正に伴う各種材料代替対応を、各製品群別に進めています。

これら対応の一部例外事項については、対応状況を当社ホームページ上でお知らせしています。

④日東工器の製品含有化学物質調査

JAMP^{※1}に会員として加盟し、2019年度は「AIS」「MSDSplus」^{※2}による調査管理を行ってきました。同様に仕入れ先様にも「AIS」「MSDSplus」による調査管理を依頼し、実施管理していただきました。2020年度から、「chemSHERPA」^{※3}での管理へ移行をしていきます。

※1 JAMP (アーティクルマネジメント推進協議会)：化学物質情報を適切に管理し、円滑に開示・伝達する仕組みをつくり普及させるために発足した、製造業界横断の活動推進団体

※2 「AIS」「MSDSplus」：JAMPが作成した化学物質情報伝達ツール

※3 「chemSHERPA」：経済産業省が作成した化学物質の情報伝達ツール。「AIS」をベースに国際規格IEC62474に準拠している

環境教育の実施状況

2019年度の日東工器およびグループ各社の環境教育実施状況です。今後もさまざまな観点より、必要教育を実施します。

| 内訳 | 日東工器 | | 栃木日東工器 | | 白河日東工器 | | メドテック | |
|----------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|--------|
| | 開催教育数 | 延べ受講人数 | 開催教育数 | 延べ受講人数 | 開催教育数 | 延べ受講人数 | 開催教育数 | 延べ受講人数 |
| 合計 | 77回 | 1,286人 | 29回 | 275人 | 7回 | 119人 | 59回 | 209人 |
| 環境役割者教育 | 9回 | 132人 | — | — | 1回 | 2人 | 32回 | 6人 |
| 環境外部セミナー | 3回 | 49人 | — | — | — | — | 2回 | 12人 |
| 専門者教育 | — | — | 7回 | 49人 | — | — | 16回 | 1人 |
| 新人環境教育 | 2回 | 22人 | 3回 | 12人 | 1回 | 2人 | 1回 | 4人 |
| 環境一般教育 | 58回 | 707人 | 14回 | 161人 | 3回 | 102人 | — | — |
| 緊急事態訓練 | 5回 | 376人 | 5回 | 53人 | 2回 | 13人 | 8回 | 186人 |

Part

4 | 地球温暖化対策・廃棄物の削減

日東工器は環境方針にのっとり、リデュース・リユース・リサイクルの推進を通して、コスト削減と環境保全を両立し、地球温暖化防止のため省エネルギー・省資源への取り組みを推進しています。

地球温暖化防止に向けた活動

●地球温暖化防止に向けた活動

日東工器はこれまでに、環境に配慮した製品の開発、電力の削減、燃費の改善、ペーパーレスの取り組み、資源のリサイクルなど、さまざまな取り組みを行ってきました。

一つ一つは小さな効果ですが、それらを積み重ね少しでも地球環境改善に貢献できるよう、各部門で目標を設定し、活動を続けています。

●CO₂排出量

2019年度の日東工器CO₂排出量の実績は、899tとなり前年度に比べて21t増加しました。日東工器のCO₂排出量の割合は、電力によるものが約73%、自動車用の燃料が約18%と、この2つで約91%を占めています。

なお、CO₂以外の温室効果ガスについては、排出していません。(図1参照)

●電力使用量

2019年度の日東工器の電力使用量は、1919kWhと前年度に比べ41kWh増加しました。実験設備の稼働状況と、夏の暑さなどによるものです。(図2参照)

廃棄物の削減

●廃棄物排出量

2019年度の日東工器の廃棄物排出量は、21.1tと前年度に比べ2.0t増加しました。廃棄物は廃棄時に材質などから14種類に分類し、できるだけ後工程に負荷をかけずリサイクルできるように対応しています。(図3参照)

●紙類リサイクル量

2019年度の日東工器の紙類のリサイクル量は、37.0tと前年度に比べ4.0t増加しました。(図4参照)

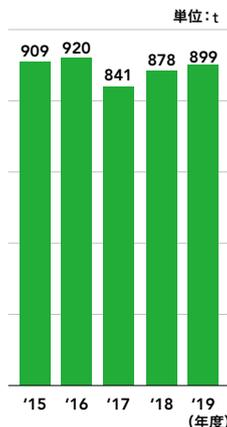
●コピー用紙使用量

各部門の業務改善の積み重ねや、裏紙の再利用などによるコピー用紙の有効利用は浸透しています。2019年度コピー用紙使用量は、6.2tで、前年度に比べ0.8t増加しました。

(図5参照)

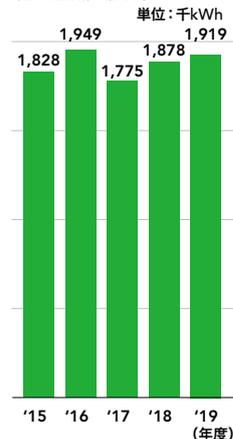
CO₂排出量の推移

(日東工器) (図 1)



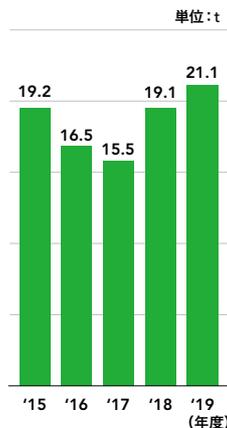
電力使用量の推移

(日東工器) (図 2)



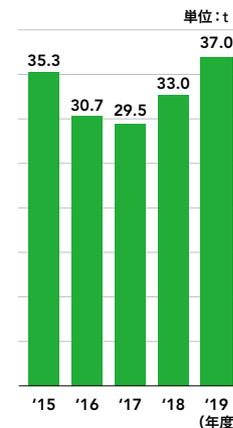
廃棄物排出量の推移

(日東工器) (図 3)



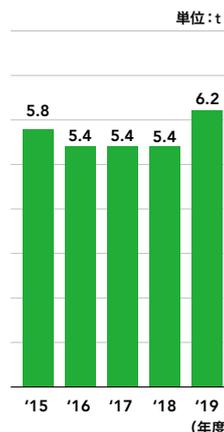
紙類リサイクル量の推移

(日東工器) (図 4)



コピー用紙使用量の推移

(日東工器) (図 5)



5 | 環境への影響について

日東工器の国内拠点において、2019年度に投入したエネルギー量・水資源量・原材料その他購入品の量と、排出した環境負荷量・廃棄物量・リサイクル量および製品として出荷した量は以下のとおりです。



エネルギー

原材料

水

製品

二酸化炭素

リサイクル

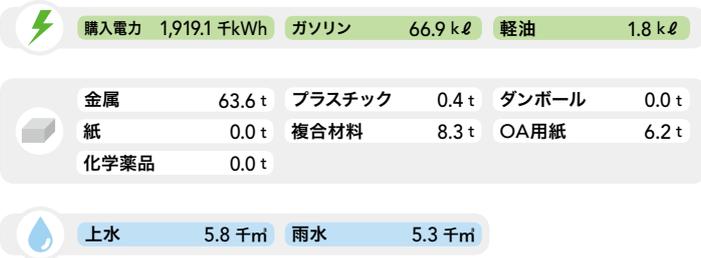
廃棄物

排水

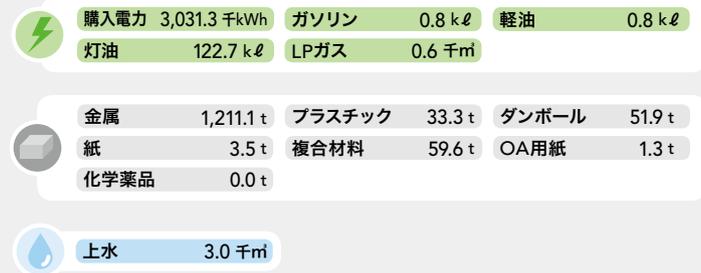
INPUT

OUTPUT

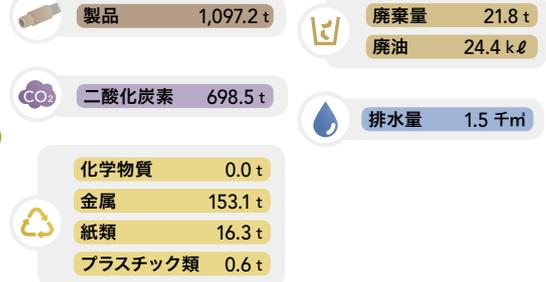
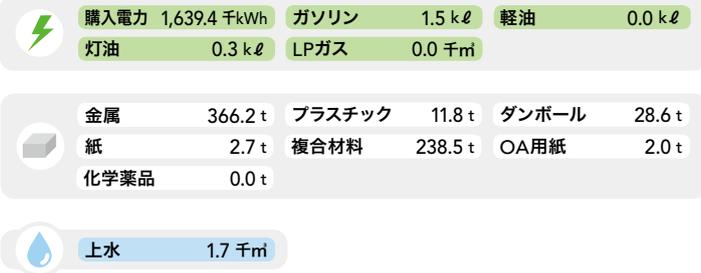
日東工器株式会社



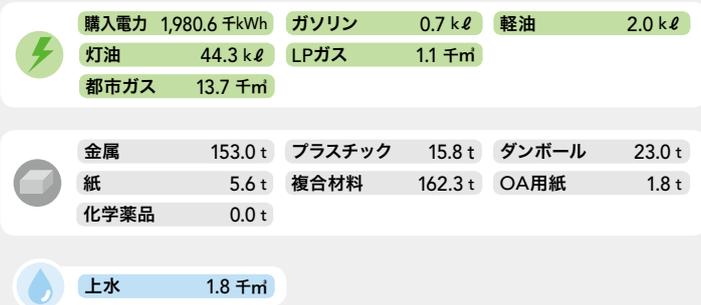
栃木日東工器株式会社



白河日東工器株式会社



株式会社メドテック



環境負荷の低減を目指し、環境への影響の「見える化」を、継続的に取り組んでいきます。

Part

6 | 製品開発

日東工器は開発面でも環境貢献に力を入れています。環境配慮設計 (DfE=Design for Environment) 評価の採用もその一つです。今後も独自の技術開発で環境保全に努めます。

自社製品コンセプト

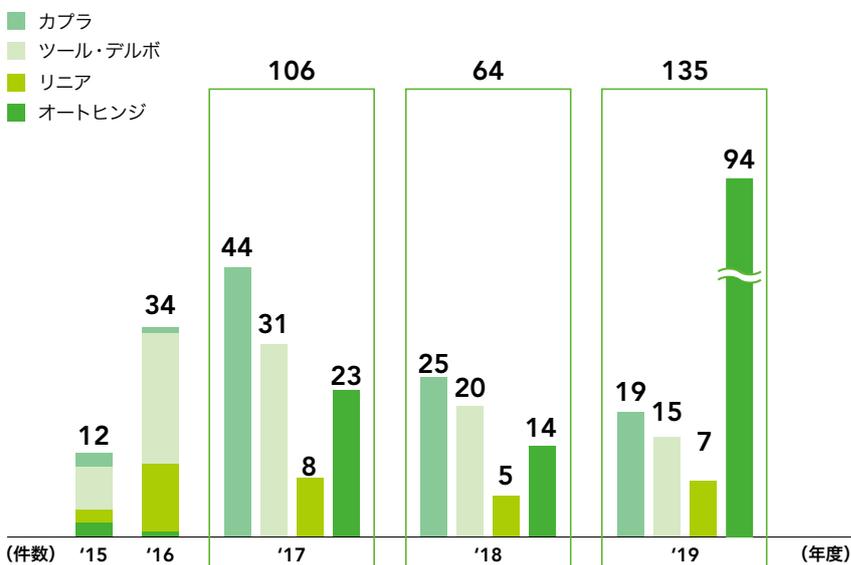
日東工器は創業から半世紀余にわたり、一貫して人間に焦点を当て、独創的な技術を活かしたモノづくりを行っています。当社製品が目指してきたのは「産業界の省力・省人化、作業環境の改善」であり、使う人の立場で社会に貢献し続けることです。

今日では「カブラ」「ツール・デルボ」「リニア」「オートヒンジ」の4事業でさまざまな製品を世の中に送り出し、いずれも高い評価をいただいています。

環境配慮設計

日東工器で、新製品や改良製品を設計する際に取り入れているのがDfEです。DfEとは、開発段階からお客様の製品廃棄時までを通した各段階で、環境負荷をできるだけ低減する設計のことです。

2016年度からは、既存製品についてもDfE再評価を実施しています。DfEを2004年度から導入し、2019年度までの16年間で累計513件の環境配慮製品を開発・改良・再評価しました。



モノがたり

切削液回収の新スタンダードを目指す！ 切削液回収ユニット HK-400

切削液回収ユニット「HK-400」は、お客様からいただいたご要望・アイデアを基に製品開発を始めました。

金属加工を行う工作機械には、冷熱用に切削液が使用されています。従来、漏れた切削液の回収はウエスやスコップによる手作業や、エアバキュームクリーナーやプロセスポンプが使われ、作業効率の悪化や空気の大量消費、電力使用量の増加などの問題がありました。そこで、「HK-400」は「低消費電力」「小型・軽量」「高い安全性」の3点をコンセプトに、低消費電力タイプのDCダイアフラムポン

プを採用し、電源ボックスのスイッチ・コネクタ部には防水防塵構造を取り入れ開発しました。電力使用量は従来品と比較して大幅に抑えることに成功。安全で、しかも本体わずか0.6kgの軽さを実現しました。

当製品の最大の魅力はコンパクト設計で、マグネットで機械側面に設置可能です。切削液回収作業が手軽にでき、省エネルギー・省人化につながります。お客様からも「煩わしい作業が減った」「電気代が節約できて良かった」などの声をいただいています。



ECO Topics

水の流れをひと目で確認

フローモニター レンズ交換タイプ

フローモニターレンズ交換タイプは、水配管の流れをひと目で確認できる製品です。射出成形機で樹脂や金属の成形部品を作る場合、金型を水などで冷却しています。その際、管内の通水を視覚的に確認できるため、成形不良などの不具合防止に役立ちます。

取付ねじサイズはRc3/8とRc1/2の2タイプあります。

フローモニター
型式：FMC-30-3F



型式：FMC-30-4F

交換部品



モニターレンズ



ストッパ

主な特徴

- ① 射出成形品の品質の安定を低コストで実現
- ② モニターレンズの交換で視認性の低下に対応
- ③ 外れ防止のストッパで安全機能
- ④ 配管作業性に優れた構造

小型で広い流量可変領域・低振動で長寿命化

小型液体ダイアフラムポンプ「DPE-100BLC / DPE-200BLC」

「DPE-100BLC / DPE-200BLC」は独自の脈動吸収機構を内蔵した低振動のDC液体ダイアフラムポンプです。ブラシレスモータを採用して長寿命化を図り、耐用時間は当社従来製品の約10倍に向上しました。また回転数制御機能搭載モータの採用で、小型でありながら広い流量可変領域を実現しました。低流量・高制御性能の「DPE-100BLC」、高流量・高自吸力の「DPE-200BLC」と特徴を分けた2モデルをラインアップ。各機種で豊富な接液部材を標準化しており、化学分析装置や医療機器のさまざまな液体搬送用途で活躍します。

主な特徴

- ① 小型・軽量・長寿命（ブラシレスモータ採用で耐用時間 6,000時間）
- ② 回転数制御機能搭載
- ③ 当社独自の脈動吸収機構（PAT）搭載
- ④ 豊富な接液部材でさまざまな流体に対応



コンパクト&コードレスでなおかつパワフル

磁気応用穴あけ機「アトラエース CLO-2725」

アトラエース「CLO-2725」は、鋼材にマグネットで固定して穴あけをする携帯可能な機械工具です。36Vのリチウムイオン電池を搭載したコードレスで、橋梁補修工事や建設現場など、電源や動力源を確保しにくい高所や狭所での穴あけ作業に適しています。

高効率ブラシレスモータをアトラシリーズで初採用し、パワフルな穴あけを実現しました。加工時間は従来機種と比べ40%短縮し、加工数も20%アップしています。

また、シリーズ最小の高さで、可倒式ハンドルや水平基調デザインとなっています。環状刃物の新サイズ「ジェットブローチ25mmタイプ」を使用することで、従来品よりも高さが低い約150mmとなり、高さ200mmのH形鋼のフランジ内の穴あけなど、狭い箇所でも作業が可能です。

穴あけ位置を明るく照らすLEDライトをシリーズで初搭

載し、本体の先端をラウンドタイプにすることで、奥まったところや薄暗い場所での視認性と作業性の向上を図りました。

これからの現場穴あけ作業のスタンダードになることを期待しています。



Part

7 | 生産部門の取り組み

メーカーである日東工器にとって、生産現場での改善活動と環境への取り組みは非常に重要です。多岐にわたる製品を生み出す生産拠点で、どのような取り組みが行われているのか、国内外の主要な生産拠点を例にとって説明します。

生産改善小集団活動成果発表会

日東工器グループでは、毎年、国内外生産会社4社の小集団活動優秀チームが日東工器に集まり、生産改善活動成果発表会を開催しています。

各生産会社では、製品の品質向上・生産合理化・業務高効率化を目指し、小集団で改善活動に取り組んでいます。

2019年度は優秀チームの発表に先立ち、次世代へのノウハウ継承のため、経験豊富なベテラン社員が自身の経験に基づいた「小集団活動の意義・狙い」について発表しました。また、

2019年度の成果発表会では、生産現場の工程改善による合理化だけでなく、間接部門の経理担当からも「資料作成作業時間短縮による業務改善の成果」が発表されました。普段は外から見えにくく、改善成果が評価されにくい間接部門も、業務高効率化を目指して日々改善活動に取り組んでいます。

日東工器グループの各生産会社は、創意工夫を凝らした独自の改善活動を行うことで、人と環境への負荷軽減に努めています。



「NKG-EDI」説明会／商品展示会開催（白河日東工器）

白河日東工器では、インターネットで取引ができる電子受発注システム「NKG-EDI」を導入し、2019年5月から運用を開始しました。これまでは、仕入れ先様へ発注の事前確認書類を手書きで起票し、メールやFAXで案内し返信していただいていたのですが、これらの作業を電子化・ペーパーレス化することで、業務効率の大幅な改善と生産リードタイム短縮につながりました。

導入に先立ち、仕入れ先様への「NKG-EDI」説明会を2019

年4月に開催し、仕入れ先ご担当者様に理解を深めていただきました。

また説明会の会場では、仕入れ先様向けの商品展示会を実施しました。カブラ・ツール・デルボ・メドマー・ドアクローザなどの主力商品を展示し、普段仕入れ先様に製造していただいている部品が、日東工器の商品にどのように組み込まれているか、実際に商品を見て・触れて、ご理解いただく絶好の機会となりました。





栃木日東工器の生産改善

栃木日東工器では生産設備の効率化と省力化による環境負荷低減を目的とし、社内作業自動設備の改善を行っています。改善内容の具体例を二つ紹介します。

一つ目は、検査員による加工部品の外観目視検査工程を、画像認識カメラによる自動検査設備を導入することで省力化、無人稼働を可能とし、効率的な生産と人的負荷低減を図りました。設備はエネルギー効率を考慮して電動部品を採用し、部品自動識別による組立段取り自動化も行い、多くの製品機種について無人稼働することも可能になりました。

二つ目は、多関節ロボットを導入して、確実でスムーズな組立作業が可能になるように設備を改善しました。自動組立ラインを構築したことで、品質の安定と省力化の向上につながりました。

今後は、近年急速に進む設備のロボット化を踏まえ、人とロボットが共存しながら安全で高品質なモノづくりを推進し、人と環境に優しい効率的な設備改善を実現していきます。



メドテックの生産改善

メドテックでは、2019年度の社内小集団改善活動の取り組みで、主力生産製品のひとつである集塵機構付空気式研磨機の金属部品加工において、従来は機械に手で材料をセットしていた工程を、完全自動化する改善を進めました。

自動化への改善には、課題が山積みでした。中でも苦労したのが、部品加工時に削った切粉が細かくならず、長く伸びて部品や刃物に絡みついた問題でした。従来は、絡みついたたびに手作業で除去していましたが、試行錯誤を繰り返し、さまざまな刃物を試し、加工条件を見直すことで、絡みつかない条件を見つけ出しました。

これにより、切粉除去による作業ロス時間の改善と、連続運転が可能になり、夜間稼働の自動化を達成できました。今後も自動化、省力化を進め、人と環境に優しい生産工場になるよう改善活動を継続していきます。

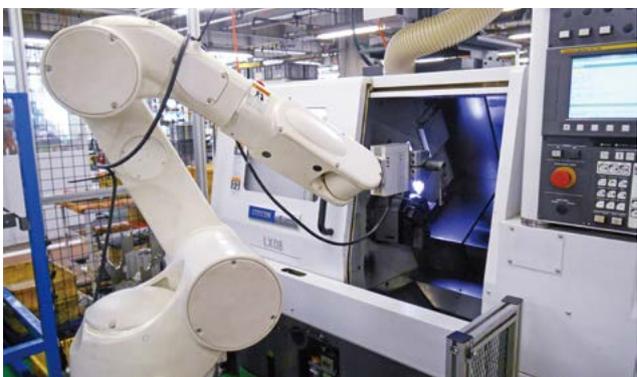


白河日東工器の生産改善

白河日東工器では、加工設備への部品供給ロボットを改良し、無人運転時間の延長を図りました。また、溶接ロボットの導入により、複数作業工程をまとめることができ、リードタイム短縮につながりました。

工場全体では、スペースを有効活用するために、改めて2S（整理・整頓）を意識してレイアウト変更を実施しました。修理部門と生産組立ラインを再配置し、組立作業方法を変更して作業効率改善と生産性向上につながりました。

このほかにも、オフィスの階段下や踊り場などに保管していた棚や事務用品など、使用しない什器は全て廃棄しました。生産現場でも、老朽化した治工具類の廃棄や、梱包用資材を定位置化して収納棚を設置しました。その結果、工場内が整理・整頓され、安全面・品質面・作業効率面の改善へ寄与しています。



海外環境データ

海外生産グループ会社のCO₂排出量と電力使用量

| | | |
|-------------------|---------------------|-----------|
| NKAM (オーストラリア) | CO ₂ 排出量 | 90t |
| | 電力使用量 | 166千kWh |
| NKIT (タイ) | CO ₂ 排出量 | 1,160t |
| | 電力使用量 | 2,541千kWh |

Part

8 | オフィスの取り組み

本社オフィスは、空調管理に省エネルギー技術を採用しています。

自然の力をうまく取り入れることによって、環境に負荷をかけることなく、1年を通じてオフィス内を快適な状態に保つことができます。オフィスでの取り組みを紹介します。

日東工器本社



日東工器の本社社屋はさまざまな環境への配慮により、建物総合環境性能評価システム（CASBEE）で最上級の「S」ランクを実現しました。

社屋の環境対応を紹介します。オフィスには大開口のペアガラスを採用し、日中は外光を取り入れながら熱の出入りを抑え、節電につなげることができます。

建物外観の大きな特徴となっているルーバー（電動外部ブラインド）は壁面の放射熱を約90%もカットし、省エネルギー化に貢献します。

オフィスの空調は、天井に設置したアルミ製の放射空調パネルで行います。冷房はパネルに冷水を流し、冷気でオフィス内を快適な温度に保ちます。加えてアンダーフロア空調という床下からの空調も導入しました。涼しい季節は、空調を停止して、窓際の天井部分と網戸で自然換気を行っています。従来方式の空調に比べて30%程度も省エネルギー効果があります。

社屋の給水システムでは、雨水を地下貯水槽に溜め、トイレの排水用に利用しています。その効果で、本社の上水道使用量は通常より40～50%削減が可能です。

LED照明へ交換

2019年、本社社屋の蛍光灯2,500本をLED照明へ交換しました。交換にあたり、執務エリアは、従業員がパソコンや書類を長時間視るため、適切な明るさになるように配慮しました。ショールームには、展示品や打ち合わせスペースが明るく見えるようなLED照明を採用しました。

従来の蛍光灯は、自動で照度調整する機器を導入していたため、一般の蛍光灯に比べ節電効果はありましたが、LED化により従来よりさらに30%の電力消費を抑えることができる見込みです。





Part

9 | 生物多様性への取り組み

日東工器グループは社会や地域の皆様とともに、成長する企業でありたいと考えています。自然との関わりや、ボランティア活動を通じて社会や地域に貢献し、皆様に信頼され、良好な関係を築いていくために、さまざまな活動を行っています。

「やまがた絆の森プロジェクト」に参加



2019年度も山形ゼロックス株式会社主催の「やまがた絆の森プロジェクト」に、メドテックから7人参加しました。絆の森プロジェクトの活動に参加してから9年になります。

午前中は植林活動を行いました。今年度は新たなエリアに植林しましたが、その近隣エリアには9年前に初めて参加した際に植えた苗木たちが、大きく育っていました。

今回は「ポット苗」を使って植林を行いました。今までは苗木を植える際に大きな穴を掘る必要があり、一本植えるだけでも大変な作業でした。「ポット苗」は植える際に大きな穴を掘らなくても、誰でも簡単に植林できるため効率よく多くの苗木を植えることができました。

午後は、2018年度に引き続き、「SDGs」に関するグループワークを行いました。

「SDGs」とは、2030年までに達成すべき17の目標「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称であり、国際社会共通の目標です。目標の内容は、貧困や飢餓などの問題から、働きがいや経済成長・気候変動に至るまで、21世紀の世界が抱える課題が包括的に掲げられています。

各目標は我々には手の届かない大きな内容に見えますが、例えばゴミの分別や節電などの身の周りの小さなことも、17の目標の達成につながっていることを学びました。

今後も社会や地域と共存する会社を目指し、自然・環境に関わる生物多様性の活動に参加していきます。



技術で、人を想う。

約60年間にわたって培ってきた技術力や、高品質への信頼に加えて、今後はより画期的な製品開発やサービスの提案が必要とされています。こうした時代の中で、私たちは「ユーザーの立場に立って考え、行動すること」を今まで以上に大切にしていきます。

日東工器 社会・環境活動関連年表

| | 活動 | 区分 |
|-------|------------------------------------|---------------|
| 1956年 | 日東工器株式会社設立 | — |
| | 省エネルギー・省人化製品(エアマイクロメーター・カブラ)製造開始 | 環境製品 |
| 1958年 | 省エネルギー・省人化製品(ツール)製造開始 | 環境製品 |
| 1973年 | 省エネルギー・省人化製品(リニア)製造開始 | 環境製品 |
| 1997年 | 日東工器株式会社ISO9001認証取得 | ISO9001 |
| 2000年 | 省エネルギー・省人化製品(オートヒンジ)製造開始 | 環境製品 |
| 2001年 | 日東工器グループでISO14001認証取得活動開始 | ISO14001 |
| 2003年 | グリーン調達分科会を設置・活動開始 | グリーン調達 |
| 2004年 | 新製品の環境配慮設計(DfE)評価を開始 | 環境製品 |
| | 日東工器株式会社ISO14001認証取得 | ISO14001 |
| | グリーン調達ガイドライン0版発行 | グリーン調達 |
| | グリーン調達活動開始 | グリーン調達 |
| 2006年 | 多摩川河川敷清掃活動開始 | 社会・環境活動 |
| 2007年 | 営業車ハイブリッド車導入開始 | 社会・環境活動 |
| 2009年 | 日東工器本社建築新社屋「CASBEE」最高ランク評価に認定 | 社会・環境活動 |
| 2010年 | 環境報告書の発行 | 環境報告書 |
| | グリーン調達委員会を設置・分科会より活動移行 | グリーン調達 |
| | 近隣清掃活動開始 | 社会・環境活動 |
| 2011年 | 主要グループ会社ISO14001認証取得完了 | ISO14001 |
| | 大田区環境イベント「エコフェスタワンダーランド」参加 | 社会・環境活動 |
| | 山形県「やまがた絆の森プロジェクト」参加(株式会社メドテック) | 社会・環境活動 |
| 2013年 | グリーン調達ガイドラインから基準へ名称変更(7版より) | グリーン調達 |
| | 大阪市ごみ減量優良標受贈(西日本支社) | 社会・環境活動 |
| 2014年 | 製品含有化学物質管理システム(CMS)を構築 | グリーン調達 |
| | CMS中期目標(5ヶ年)策定 | グリーン調達 |
| | 塩化メチレン使用中止で全生産拠点有害物質使用の全廃達成 | グリーン調達 |
| 2015年 | 大阪府環境局特定建築表彰受賞(西日本支社) | 社会・環境活動 |
| 2016年 | 既存製品のDfE評価(評価見直し)開始 | 環境製品 |
| 2017年 | 大田区廃棄物抑制・リサイクル推進優良事業者表彰受賞 | 社会・環境活動 |
| 2018年 | 日東工器グループISO9001/14001:2015年版への移行完了 | ISO9001/14001 |
| | 山形県「みはらしの丘清掃」参加(株式会社メドテック) | 社会・環境活動 |
| | 大阪市ごみ減量優良建築物標章受贈(西日本支社) | 社会・環境活動 |
| 2019年 | JICA人事行政セミナー 国際研修員受け入れ開始 | 社会・環境活動 |
| | 「大田区高齢者見守り推進事業者」に登録・協力開始 | 社会・環境活動 |

日東工器株式会社

- 本社：〒146-8555 東京都大田区仲池上二丁目9番4号
- TEL：03-3755-1111代
- URL：<https://www.nitto-kohki.co.jp/>

